

背景

- ・新下水道ビジョン策定(H26.7)から約3年が経過、人口減少等に伴う厳しい経営環境、執行体制の脆弱化、施設の老朽化は引き続き進行
- ・一方、水ビジネスの国際展開など、国内外で新たな動き

加速戦略の位置づけ

- ・新下水道ビジョンの実現加速のため、施策の進捗や社会情勢をふまえ取組を加速すべき**8つの重点項目**を抽出。
- ・**国**は選択と集中により**5年程度で施策を実現**し、国民の生活の安定、向上につなげる。

8つの重点項目と施策例

8つの重点項目の施策を推進し、下水道市場の維持・拡大、産業の活性化等により**正のスパイラル**を形成

- ☆：直ちに着手する新規施策
- ◎：逐次着手する新規施策
- ：強化・推進すべき継続施策

社会情勢等ふまえ新たに推進すべき分野

選択と集中により取り組みをいっそう加速すべき分野

重点Ⅰ.官民連携の推進

- ☆企業が安心して参入することができる**リスクヘッジ手法の整理**
- ☆上下水道一体型や**他のインフラと連携した官民連携手法の整理**
- ☆広域的な官民連携を推進するための**制度・仕組みの整理**

重点Ⅱ.下水道の活用による付加価値向上

- ◎**ディスプレイを活用した下水道へのオムツの受入れ**実現に向けた実証実験等の実施
- ◎**汚泥の性状や地域特性に応じた広域的・効率的な資源・エネルギー利用の促進**
- ☆下水道発食材の愛称『**じゅんかん育ち**』のPR等を通じた下水道由来肥料販売促進

重点Ⅲ.汚水処理システムの最適化

- ☆施設整備を伴う**広域化目標の設定**、国による重点的な支援
- ☆複数施設の集中管理のための**ICT活用検討**
- 複数の市町村による**点検調査・工事・維持管理における一括発注の推進**

重点Ⅳ.マネジメントサイクルの確立

- ☆データベース化した維持管理情報の**修繕・改築への活用(マネジメントサイクルの標準化)**
- ◎**マネジメントサイクルに基づく点検・診断、修繕・改築に関するガイドライン、基準の策定**
- ☆汚水整備概成後の**健全な下水道経営の確保**に向けた支援のあり方等とりまとめ

重点Ⅴ.水インフラ輸出の促進

- ☆**JSの国際業務の拡充**
- ☆現地ニーズを踏まえた本邦技術の**海外実証の実施**、現地基準等への組入れ
- ☆浄化槽との**パッケージ化等**を通じたマーケットの拡大

重点Ⅵ.防災・減災の推進

- ☆カメラやSNSを活用した**効率的な浸水情報収集システム**の導入
- ◎**コンパクトシティ等、まちづくりとの連携**による**効率的な浸水対策の実施**
- 施設の**耐震化の推進**及び**応急復旧体制**のさらなる向上

官民連携、ストックマネジメント、水インフラ輸出等の拡大に向けた基盤を整備

重点Ⅶ.ニーズに適合した下水道産業の育成

- ◎下水道事業の変化や新たなビジネスモデルに対応した**トップランナー企業の育成**
- ☆IoT技術等を活用し下水道産業をより**収益性の高い事業へと転換**
- ☆**労働生産性向上に資する技術開発**に着手

重点施策を通じた
下水道のスパイラルアップ

国民生活の
安定、向上

下水道のイメージ改革、理解促進

重点Ⅷ.国民への発信

- 全国統一的概念**による広報企画や下水道の**新しい見せ方**などの**戦略的広報の実施**
- ◎**広報効果の評価手法**を検討し**広報活動のレベルアップ**へ活用

- ・海外案件の受注拡大
- ・民間投資の誘発
- ・民間委託の拡大

産業活性化

成長産業へ

下水道市場の
維持・拡大